

消費税増税の延期をどう思われますか？

安倍首相が記者会見でさらに2年半延期をすることを表明した6月1日、日経新聞の取材を受けました。私は以下のように答えました。

この件は、短期的視点と中長期的視点で、また、それぞれの企業の経営といういわばミクロの視点と国全体の経済といういわばマクロの視点で観ていく必要があると思います。

短期的、ミクロ的に観れば、地域の中小企業としてはホッと一安心というところでしょう。それでなくとも一部大企業を除けば厳しい経営環境が続き、売上げの伸長がなかなか見込めない中で、少しでも消費マインドを冷え込ませるようなことは避けて欲しいというのが本音ではないでしょうか？ 特にここ小田原・箱根は昨年、箱根・大涌谷の火山活動の影響で大変な苦境を経験し、この地域の経済がいかに観光に支えられているかを体感的に再確認しました。観光というのは生活必需ではなく、ある意味、人々に精神的あるいは経済的な余裕がないと成り立たない産業という側面があります。消費税が上がり、将来の生活に対する不安がより大きくなると真っ先に影響を受ける産業だからです。

しかしながら、同時に思いを巡らせなくてはならないのは、中長期、マクロ的な問題です。

そもそも、4年前の2012年3月の民主党政権次代に民主党、自民党、公明党によりなされた社会保障と税の一体改革の三党合意はどこへ行ってしまったのか？ 国の財政はどう建てなおすのか？

2年前の2014年11月に1年半で増税できる経済環境をつくると言って当初2015年10月に予定していた増税を2017年4月に延期をした上で衆院を解散しました。今回再度延期をするということは、結果として、その増税できる環境を作ることができなかったということでもありますから、なぜできなかったのか？ アベノミクスのどこが良くてどこが悪かったのか？ しかれば、これからのアベノミクスはどうするのか？ をしっかりと示して欲しいと思います。それがないと、多くの消費者や経営者が抱えている将来への不安感をますます増殖させることになり、ますますお金を使わなくなります。と申し上げました。

アベノミクスの功罪を分析し、それぞれの企業の経営に活かすべきところは活かすという冷静さとしたたかさが必要だと思います。皆さんはどう思われますか？

会頭 鈴木悌介